

2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）



2022年8月12日

東

上場会社名 株式会社坪田ラボ 上場取引所
 コード番号 4890 URL <https://tsubota-lab.com/>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）坪田 一男
 問合せ先責任者（役職名）執行役員管理本部長（氏名）清水 貴也（TEL）03-6384-2866
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2023年3月期第1四半期の業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

（1）経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	228	—	△67	—	△84	—	△58	—
2022年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△2.56	—
2022年3月期第1四半期	—	—

（注）1. 2022年3月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2022年3月期第1四半期の数値及び2023年3月期第1四半期における対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	2,633	1,766	67.1
2022年3月期	1,617	744	46.0

（参考）自己資本 2023年3月期第1四半期 1,766百万円 2022年3月期 744百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,278	99.5	262	93.0	262	29.7	181	18.6	7.40

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

1株当たり当期純利益については、2022年6月22日付で払込完了した公募（ブックビルディング方式による募集）による新株式の発行に伴う公募増資分（2,500,000株）を考慮して算出しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期1Q	25,132,700株	2022年3月期	22,632,700株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	—株	2022年3月期	—株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期1Q	22,879,953株	2022年3月期1Q	—株

(注) 2022年3月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2022年3月期第1四半期における期中平均株式数を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2022年4月1日～2022年6月30日)におけるわが国経済は、ウクライナ情勢の緊迫や資源価格の高騰、新型コロナウイルス感染症の流行の継続等により厳しい状況である一方で、感染対策に万全を期し経済社会活動の正常化が進む中で、景気が持ち直していくことが期待されております。

このような環境の中、当社は慶應義塾大学発ベンチャーとして、“ビジョナリーイノベーションで未来をごきげんにする”をミッションに掲げ、「近視、ドライアイ、老眼の治療に革新的なイノベーションを起こす」という目標のもと、事務所及び研究室の衛生管理、ソーシャルディスタンスの維持等を徹底し、自宅勤務、時差出勤等を導入しながら事業活動を行ってまいりました。研究開発では引き続き、新規知財の発見及び新規パイプラインの追加を目指し基礎研究を継続し、知財の導出及び共同研究先であるパートナー企業との研究開発を強化してまいりました。また、バイオレットライト技術を用いた近視抑制のための医療機器開発(TLG-001)において、検証的臨床試験(治験)を開始いたしました。事業開発では、検証的臨床試験(治験)の開始に基づき、TLG-001の実施許諾契約のマイルストーンを達成いたしました。

これらの結果、当第1四半期累計期間における当社の経営成績は以下のとおりとなりました。

なお、当社は研究開発事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載は行っておりません。

(単位：千円)

	売上高	営業損失(△)	経常損失(△)	四半期純損失(△)	1株当たり 四半期純損失(△)
当第1四半期 累計期間	228,902	△67,116	△84,421	△58,572	△2.56円

(2) 財政状態に関する説明

財政状況

	前事業年度	当第1四半期 会計期間末	増減
資産合計(千円)	1,617,795	2,633,311	1,015,516
負債合計(千円)	873,442	866,531	△6,911
純資産合計(千円)	744,353	1,766,780	1,022,427
自己資本比率(%)	46.0	67.1	21.1
1株当たり純資産(円)	32.89	70.30	37.41

(流動資産)

当第1四半期会計期間末の流動資産の残高は、2,509,644千円となり、前事業年度末に比べて994,516千円増加いたしました。これは、普通預金が839,628千円及び売掛金が217,944千円増加し、仕掛品が113,788千円減少したことが主な要因であります。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末の固定資産の残高は、123,667千円となり、前事業年度末に比べて20,999千円増加いたしました。これは、繰延税金資産が26,086千円増加し、工具、器具及び備品が645千円、特許権が856千円及び長期前払費用が3,446千円減少したことが主な要因であります。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末の流動負債の残高は、673,311千円となり、前事業年度末に比べて791千円減少いたしました。これは、買掛金が26,149千円、未払消費税等が6,812千円及びその他が6,659千円増加し、契約負債が21,999千円、未払法人税等が18,892千円減少したことが主な要因であります。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末の固定負債の残高は、193,220千円となり、前事業年度末に比べて6,120千円減少いたしました。これは、長期借入金が6,120千円減少したことが要因であります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産合計は、1,766,780千円となり、前事業年度末に比べて1,022,427千円増加いたしました。これは、公募増資により資本金及び資本準備金がそれぞれ540,500千円増加し、四半期純損失58,572千円を計上したことが要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年6月23日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,174,929	2,014,557
売掛金	4,094	222,038
仕掛品	308,561	194,772
前払費用	27,543	78,275
流動資産合計	1,515,127	2,509,644
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品	125,260	131,961
減価償却累計額	△54,527	△61,874
工具、器具及び備品(純額)	70,732	70,087
有形固定資産合計	70,732	70,087
無形固定資産		
特許権	14,737	13,880
ソフトウェア	339	301
無形固定資産合計	15,076	14,182
投資その他の資産		
長期前払費用	13,910	10,463
繰延税金資産	1,936	28,023
その他	1,011	911
投資その他の資産合計	16,858	39,397
固定資産合計	102,667	123,667
資産合計	1,617,795	2,633,311

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	17,416	43,565
1年内返済予定の長期借入金	24,480	24,480
未払金	52,006	52,487
未払法人税等	21,134	2,241
未払消費税等	1,849	8,662
契約負債	550,000	528,000
その他	7,214	13,874
流動負債合計	674,102	673,311
固定負債		
長期借入金	199,340	193,220
固定負債合計	199,340	193,220
負債合計	873,442	866,531
純資産の部		
株主資本		
資本金	231,053	771,553
資本剰余金		
資本準備金	215,053	755,553
資本剰余金合計	215,053	755,553
利益剰余金		
その他利益剰余金	298,247	239,674
繰越利益剰余金	298,247	239,674
利益剰余金合計	298,247	239,674
株主資本合計	744,353	1,766,780
純資産合計	744,353	1,766,780
負債純資産合計	1,617,795	2,633,311

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	228,902
売上原価	179,464
売上総利益	49,438
販売費及び一般管理費	116,554
営業損失(△)	△67,116
営業外収益	
為替差益	1
助成金収入	2,345
その他	300
営業外収益合計	2,646
営業外費用	
支払利息	217
上場関連費用	13,274
株式交付費	6,459
営業外費用合計	19,951
経常損失(△)	△84,421
税引前四半期純損失(△)	△84,421
法人税等	△25,848
四半期純損失(△)	△58,572

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年6月23日に東京証券取引所グロース市場へ上場いたしました。上場にあたり、2022年6月22日を払込期日とする公募による新株発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ540,500千円増加しております。

これらにより、当第1四半期会計期間末において、資本金が771,553千円、資本剰余金が755,553千円となっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用の計算税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、研究開発事業の単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。